

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価)

(評価年度: 令和8年度)

事業計画調査（目的設定、中間計画、事後計画）				計画年度：令和5年度			
政策	3 農林水産						
施策	2 森の恵みを未来へつなぐ林業・木材産業を実現する						
方向性	③ 生産・供給体制の強化と県産材の販路拡大						
事業名	秋田森林産業クラスター構築推進事業				事業年度	R8 R12	年度～ 年度
部局名	農林水産部		課室名	林業木材産業課			
チーム名	調整・経営体支援チーム						

1 事業実施の背景及び目的

森林・林業・木材産業においてフィジカルAIやロボティクスの活用と高度技術人材の育成を推し進めるとともに、秋田を最先端技術の実証拠点とすることにより、魅力ある「稼げる森林産業」を確立する。

2 事業概要及び財源

(単位: 千円)

	事業内訳	概要	令和8年度 予算額	令和7年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	秋田森林産業クラスター構築調査事業	森林産業クラスターを実現させるために必要な可能性調査や最先端技術を導入した林業機械の活用研修等を行う。	6,496		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			6,496	0	0
左の説明					
国庫補助金			2,816		
地域未来交付金					
県債					
その他					
一般財源			3,680	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	産業人材育成者数(人)【成果指標】									
指標式	最先端技術を導入した林業機械活用研修等への参加者数									
出典	林業木材産業課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a								20	50	80
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)